

10-1 腎不全（じんふぜん）

- ◇慢性腎不全—加齢に伴う生理的な変化に加えて、高血圧、糖尿病や動脈硬化などが原因となり、腎臓の機能が持続性に、不可逆的に低下した状態。
- ◇急性腎不全—外傷や多量の出血、脱水、急性心不全、尿路の腫瘍や結石などによる尿路閉鎖、敗血症、薬などで生じる。高齢者では特に薬による急性腎不全に注意。

主な症状	<p>慢性腎不全</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 初期にはほとんど症状がなく、血液検査でたまたま発見されることが多い。 ● さらに腎不全が進むと浮腫、貧血などが現れることがある。 <p>急性腎不全</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 最初から顔面、上肢さらには下肢に浮腫が現れる。 ● 尿の量が1日500ml以下になることがある。 ● 倦怠感や食欲低下も伴う。
生活上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ● 慢性腎不全の悪化の際には、急激なむくみ、息切れ、血圧上昇などに注意が必要。 ● 脱水から腎不全になりやすいので、元気がなかったり、だるさを感じる場合には脱水症状に注意する。 ● 食事療法（たんぱく質、食塩、水分などの制限）は、個別的で長続きできるような工夫が必要。
ケアマネジメントのポイント	<p><支援者の留意点・視点></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 医師の指示通りに服薬できているかを確認する。 ● 食事療法（たんぱく質、食塩、水分などの制限）をきちんと守れているかを確認し常に意識できるように促す。 ● 進行程度によって、食事制限の内容が変わるので指導内容をしっかり確認する。 ● 血液透析では、透析のたびに通院が必要で疲労に対するケアも必要である。 <p><介護サービス事業者・医療関係者との連携のポイント></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 高齢者の場合、特に薬の副作用としての腎不全に注意が必要。新しい薬を飲み始めた時に、顔のむくみがおきていないか、尿量が減っていないか観察し、異常があれば、直ちに医師・薬剤師に連絡する。 ● 人工透析を行なっている場合には、感染予防や食事制限など生活上の留意点がある為、医療関係者にその内容を確認し共有しておく必要がある。 ● 腹膜透析では、透析用器具を自宅で管理する必要があるため、使用方法が適切であるか、管理がきちんとされているかの確認も必要。
代表的な薬	<p>◎水分制限を確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 高K血症治療薬（ケイキサレート、アーガメイトなど） ● 高リン血症治療薬（ホスレノール、リオナ、レナジェル、カルタンなど）